

令和6年度 府中市立第九中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・わかりやすい説明や内容を正確に理解する力、文章を要約する力。 ・読み手の立場になり、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える力。 ・言葉に対する関心を高め、文章を書く力。	・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える活動を増やす。【表現】 ・文章を書く場面や、交流する機会を増やす。【対話・表現】 ・俳句や詩を創作し、互いの作品を読む機会を増やす。【発見・表現】		
数学	・筋道を立てながら表現する力や文章を正しく理解する力。 ・既習事項を活かし多様な問題解決に結び付ける力。	・単元ごとに小テストを行い、定着度を確認して指導をする。【発見】 ・ペアワークやグループワークを通じて自分の考えを他の人に伝え、考えを深められるように工夫する。【対話・決定・表現】		
理科	・身のまわりの自然事象と授業で学んでいることが結びついていない。 ・物事を科学的に思考、判断し、論理的に表現する力が身に付いていない。	・身近な自然事象や科学の時事的なニュースを導入に用いるなど工夫する。【発見】 ・授業内で思考、判断、表現する機会を増やす。また、発問を工夫する。【対話・決定・表現】		
社会	・社会的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いていない。 ・資料やグラフ等の読み取りや、社会的事象を多面的・多角的に捉える力が乏しい。	・主体的な学習ができるよう、授業の中で発問を工夫し、積極的な発言を促す。【発見】 ・問いや課題に対する考えを出しやすいよう、資料や情報の提示を工夫する。【表現】		
音楽	・基礎的・基本的な知識・技能の習得が十分でない。 ・自己の課題を見つけ、解決する力が弱い。	・基礎的・基本的な知識・技能を習得・活用するために、理解したことや体得したことを言葉で表出したり、音楽表現したりする学習を多く取り入れる。【表現】 ・授業や題材ごとに自己の状況を把握し、目標に向けてどのように学習を進めるか、自身を振り返る時間を取り入れる。【決定】		
美術	・計画的な学習や制作作業が苦手である。 ・完成度を高めるためのビジョンを持つ力が弱い。	・見通しをもって取り組ませるために本時の予定と実際の作業を記入させ、進捗状況を意識させる。【決定・表現】 ・タブレットで由来を調べたり、作家や先輩の作品を参考にして、完成のイメージを明確にする。【発見・表現】 ・試行錯誤を繰り返し完成度を高める。【対話・表現】		
技術	・学習した知識・技能が、実際の社会や産業の場面などで活用できる力として身に付いていない。 ・作品製作の授業で自身の作業工程や、完成作品の課題を発見する力が弱い。	・学習した知識・技能を社会でどのように生かされているのか、具体的な例を提示しながら、思考し、判断、表現できるようにする。【決定・表現】 ・社会の中の問題発見、課題設定、課題解決の流れを取り入れ、製作品によってどのように解決したか振り返る学習を取り入れる。【発見】		
家庭	・学習した知識・技能が実際の生活場面などで活用できる力として定着していない。 ・作品製作の授業で自身の作品の課題を発見する力が弱い。	・学習した知識・技能を生活でどのように生かしていくか具体的な例を提示しながら、思考し、判断、表現できるようにする。【決定・表現】 ・生活の中の問題発見、課題設定、課題解決の流れを取り入れ、製作品によってどのように解決したか振り返る学習を取り入れる。【発見】		
保健体育	・新体力テストの結果から、スピード、巧緻性・瞬発力、全身持久力の能力が低い。 ・各種目において自身の課題を解決する力が弱い。	・各種目に応じた補強運動を取り入れる。特に、20m シャトルラン、50m 走、ボール投げの記録を高めることに重点をおくことで、体力の向上を図る。また、生活の中で活用できる知識を育成する。【表現】 ・自身の課題の解決方法を自ら考える場面を設ける。また、タブレットの活用を推進していく。【発見・決定】		
外国語	・既習の言語材料を用いて、自分のことを表現する力が弱い。 ・英文の内容を正確に読み取る力が弱い。	・お互いのこと、身の回りのことや考え等をペアやグループで伝え合ったり書いたりする活動を継続して行う。【発見・対話・表現】 ・教科書本文を独力で読み、その単元で学ぶことやわからないことを明確にする。教師の丁寧な説明と繰り返し活用させることで知識・技能の定着を図り、語句や文のしくみをしっかり学べるようにする。【発見・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立第九中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	- 文章の中から重要な箇所を見つけ、要約すること。 - 登場人物の言動から、心情を理解し、言語化すること。 - 目的や場面に応じて、伝えるべき内容などを検討すること。	- 重要な箇所に自分で線を引き、引いた場所を用いながら文章をまとめる。【決定・表現】 - 意見交流の場面を設定し、ICT 等用いながら他の生徒の表現に数多く触れる機会を作る。【対話・表現】 - 職員同士で伝える内容の妥当性について確認し合う時間を設ける。【発見・対話・表現】		
数学	- 基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 - 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度に課題がある。	- 意図的・計画的に小テストを実施し、スモールステップで自分の課題を発見する機会を設ける。【発見・決定】 - 学習支援員と連携して、個に対応した指導を実現する。【発見・対話】 - 問題解決の過程を振り返る場面を設定し、学級内で意見交換する。【発見・対話・表現】		
理科	- 身のまわりの自然事象を、科学的根拠に基づき考えることや、そこから理論的に思考し表現することを苦手とする生徒がいる。 - 物事を順序立てて思考することを苦手としている。	- 思考力・判断力・表現力が求められる問いを多く設定する。【決定・表現】 - 科学的根拠があるかどうか振り返ることや、他者の意見を共有する場面を作る。【発見・対話】 - 物事を順序立てて考えられるように発問を工夫する。【発見・表現・決定】		
社会	- 基本的な学習内容については理解できている生徒も多いが、社会的事象を的確に捉え、思考・判断・表現する力が身に付いていない。 - 資料の読み取りや、読み取ったことを文字や言葉にして表現する力が乏しい。	- 授業内で考える時間を増やし、考えたことを自分の言葉や行動で表現できるよう支援する。【表現】 - 資料やグラフの作成など、具体的な作業の時間を設けるなどして、自主的に課題に取り組ませる工夫をする。【発見】		
音楽	- 既習事項と関連付けて、新たな知識・技能を習得することが苦手である。 - 曲にふさわしい歌唱表現を考えたり、曲のよさを言葉で表出したりすることに課題がある。	- 既習事項を何度も繰り返し復習できる機会を増やしたり、題材ごとの関連性を視覚的に示したりする。【発見】 - グループ学習の時間を確保し、話し合い活動を通して、学習内容の理解を深めさせる。【対話】		
美術	- 計画性をもち作業を進めていく力が弱い。 - 自由な発想をもち、具体化し制作する力が弱い。 - 既習事項を活用したり、応用する力が弱い	- 見通しをもって取り組ませるために、制作カードを記入し、進捗状況を明確にする。【決定・表現】 - 様々な作品の鑑賞を行い、発想や感性を伸ばす。【発見】 - 協力して考える場面と個人作業の両方を取り入れ、発想や感性を伸ばす。【表現】 - 既習事項の振り返り、知識・技能を活用する場面を設定する。【発見・表現】		
技術	- 実習が授業の中心と考えてしまう生徒が一定数おり、解決方法の表現の一つとしての実習という流れを理解できていない。 - 身の回りの技術を、客観的に評価するなどの経験が乏しく、より良くするためにどうすべきなのかという改良、応用の視点がもてていない。	- 生物育成の技術において、問題発見、課題設定、課題解決の流れを取り入れ、育成実習の問題点を見出し、解決方法を思考し実践する学習を取り入れる。【決定・表現】 - 身の回りの問題点に目を向け、改良点を思考する課題に取り組む。【発見】		
家庭	- 学習した内容をもとに自信の生活の問題を発見し、課題を見出し、解決する力が弱い。 - 既習事項を次の学習につなげることが苦手である。	- 自身の生活を振り返り、問題発見、課題設定、課題解決の流れを取り入れ、どのように解決したか振り返る学習を取り入れる。【決定・表現】 - 既習事項とどのようなつながりがあるか詳しく説明をしていく。また生徒自ら気付くことができるように発問を工夫する。【発見】		
保健体育	- 新体力テストの結果から、スピード、巧緻性・瞬発力の能力が低い。 - 各種目において自身の課題を解決する力が弱い。	- 各種目に応じた補強運動を取り入れる。特に、投力を高めることに重点をおくことで、体力の向上を図る。また、生活の中で活用できる知識を育成する。【表現】 - 自己課題の解決法を自ら考える場面を設ける。また、タブレットの活用を推進していく。【発見・決定】		
外国語	- 相手の考えや気持ちを理解したり、既習事項を活用して自己表現したりする力が弱い。 - 単語の綴りや文法事項を幅広く正確に覚えて表現する力が弱い。	- お互いのことや考え等をペアやグループで伝え合ったり、自分で書いたりする言語活動を継続的に行う。【発見・対話・決定】 - 教科書以外に副教材等を活用して多くの英文に触れ、インプット量を多くする。基本事項を繰り返し確認して表現活動につながる指導を継続する。【発見・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立第九中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・感じたこと、伝えたいことを表現する語彙を増やして伝えあう力を育てること。 ・敬語を含む、その場面にふさわしい表現力や会話力を伸ばすこと。 ・決められた字数の中で、求められた課題に対して自身の主張を適切に表現すること。	・自身が日常的に使える語彙を増やすための練習場面を作っていく。【表現】 ・生徒の意見交流の場면을授業内に積極的に設定し、自身から発信し、他の生徒の意見や考えに触れる機会を作っていく。【発見・対話】		
数学	・数量や図形などの性質を見出し、統合的・発展的に考察する力。 ・粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする力。	・学習支援員と連携し、生徒のつまづきに応じた指導を実施する。【発見・対話】 ・説明をする問題について、相手に説明し、思考力・表現力を身に付けられるようにする。【対話・表現】 ・日々の授業に振り返りの時間を設け、自分の言葉で内容を整理することにより、よりよい学びにつなげていけるようにする。【発見・決定】		
理科	・基本的な科学法則と学習した規則性や法則性を、現実の事象と結びつけて説明すること。 ・身のまわりの自然事象を、科学的根拠に基づき考えることや、そこから論理的に思考し表現すること。	・実験で得たデータの信頼性を検証するとともに、科学的な根拠に基づいた思考の時間をつくり、自然事象について説明する課題を設定する。【発見・決定・表現】 ・科学的根拠があるかどうか振り返ることや、他者の意見を共有する活動を行う。【発見・対話】		
社会	・複数の資料やデータを読み解く力。 ・自分の考えや資料・データから読み取ったことを言葉にしてまとめる力。	・各単元を細分化し、各課題に対して自分なりの考えをまとめる。【表現】 ・授業内で自分の考えを他者と共有する時間を取り、思考を深める。【対話・表現】		
音楽	・曲にふさわしい歌唱表現を考えたり、曲の良さを言葉で表出したりすることに課題がある。 ・主体的に取り組み、自らの学習を調整しながら粘り強く学習に取り組むことが苦手である。	・グループ学習の時間を確保し、話し合い活動を通して、学習内容の理解を深めさせる。【対話】 ・学習内容を社会や世界との関わりを意識しやすいものにし、学んだことの意義を実感しやすい学習活動の充実を目指す。【発見】		
美術	・計画的に製作時間を意識して作業を進めていくことが苦手。 ・既存のものでなく、オリジナリティあふれる自由な発想を展開する力が弱い。 ・課題をふまえたテーマの設定、構成力が未熟。	・制作カードを記入し、毎時間の進捗具合を意識させる。【発見・決定】 ・既習事項をもとに、今後の生活全般で生かせる実践的な技術や知識を身に付ける。【発見】 ・お互いに意見を出し合い、試行錯誤し、完成度を高め、見解を深めることで、達成感・充実感を高める。【対話・表現】		
技術	・これまでの学習とのつながりを意識できていない生徒が一定数おり、これまで見出ししてきた問題点を、情報の技術で解決するという思考ができない。 ・既存の製作品や周囲の生活環境を、客観的に評価するなどの経験が乏しく、より良くするためにどうすべきなのかという改良、応用の視点がもてていない。	・情報の技術の学習において、これまで見出した問題点に対して、新たな、より良い解決方法を思考する学習を取り入れる。【発見】 ・身の回りの問題点に目を向け、改良点を思考する課題に取り組む。【発見・決定・表現】		
家庭	・既習事項を相互に関連付けてより深く理解することができていない生徒が一定数いる。家庭科だけではなく他教科との関連も意識して取り組むことができていない。	・既習事項の確認をし、現在の社会の姿に目を向け、よりよい生活を目指すための課題解決学習を実践する。【発見・決定・表現】		
保健体育	・新体力テストの結果から、巧緻性・瞬発力の能力が低い。	・各種目に応じた補強運動を取り入れる。特に、投力を高めることに重点をおくことで、体力の向上を図る。また、生活の中で活用できる知識を育成する。【表現】 ・自己課題の解決法を生徒自らが考える場面を設ける。また、タブレットの活用を推進していく。【発見・決定】		
外国語	・場面や状況に応じて英語で表現する力が弱い。 ・対話のやり取りの中で、自分が習った表現を活用して、相手の話を理解し自分の意見や気持ちを即興で伝える力が弱い。 ・長文の読解力が弱い。	・既習事項のリテリングなどを繰り返し行い、教科書の表現など活用して自己表現できるようにする【決定・表現】 ・日本語にとらわれずに、自分が言える表現を使って対話の表現力をつける【発見・対話・表現】 ・常活動での長文の読み込みなどを通じて英文に慣れ、文のしくみを知る【発見】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。